

おもしろ社会④（歴史編）



縄文時代（Ⅰ） あてはまるものに「○」をつけましょう。

Ⅰ 「縄文時代」という名前がつけられたのは、どうしてでしょう？

	(ア) 縄（なわ）を使って文字を表していたから。
	(イ) 縄（なわ）を使って文様（もんよう）をつけた土器を使っていたから。
	(ウ) 縄（なわ）を使い動物をつかまえて食べていたから。

Ⅱ 縄文時代の人々は、どのようにくらしていたのでしょうか？

	(ア) 動物や魚をとらえたり、木の実などをとったりして、自然のめぐみを得てくらしていた。
	(イ) 広い地域に稲作（米作り）が広がり、農作業をしてくらしていた。
	(ウ) 国王を中心とした政治が行われ、人々には身分の差があった。

Ⅲ 縄文時代の人々は、どのような道具を使っていたのでしょうか？

	(ア) 石や土、木などで道具を作っていた。
	(イ) 石や土、木のほか、貴重ではあったが銅や鉄の道具も使い始めた。
	(ウ) 銅や鉄など金属製の道具が、広く使われていた。

Ⅳ 縄文時代は、どのくらい続いたのでしょうか？

	(ア) 百年くらい続いた。
	(イ) 千年くらい続いた。
	(ウ) 1万年くらい続いた。

答えと解説



問題	正解	解 説
1	(イ)	大森貝塚（東京都）を発掘・調査したアメリカの動物学者エドワード・S・モースが、「縄で文様をつけた土器が使われていた」と報告書に書いたことから、「縄文土器」と名づけられ、このような土器を使っていた時代を「縄文時代」とよぶようになりました。 「縄文土器」には、縄の文様だけでなく、小枝や竹などで文様をえがいた土器もあります。時期や地域によって、さまざまな縄文土器が作られました。 縄文土器は、食べ物を煮（に）たり、蒸したり、貯蔵したりするなど、縄文時代の人々のくらしには欠くことのできない道具でした。
2	(ア)	このころの人々は、まだ農業や牧畜を知らませんでした。シカやイノシシなどの動物、魚や貝、木の実や山菜など、自然のめぐみを得ながらくらしていました。 米作りは、縄文時代の終わりのころ、大陸（中国や朝鮮）より伝わり、弥生時代になると次第に日本中に広がっていきました。
3	(ア)	縄文時代は、土、石、動物の骨や角（つの）など、身の回りにあるものを、自分たちで加工し道具として使っていました。それらの道具は、土器、石器、骨角器（こっかくき）などとよばれています。 このころ、日本には、まだ金属の道具やその作り方が伝わっていませんでした。弥生時代になって、大陸から青銅器（銅の道具）が伝わり、やがて鉄器も伝わりました。
4	(ウ)	縄文時代は、1万2500年ほど前から始まり、弥生時代が始まる2500年前ころまで、約1万年間も続きました。つまり、縄文時代が終わって現在まで2500年で、その約4倍も長く続いたことになります。 一口に縄文時代といっても、人々のくらしぶりや文化は少しずつ移り変わりました。そこで、歴史の専門家は、縄文時代を、古い順に「草創期（そうそうき）」「早期」「前期」「中期」「後期」「晩期（ばんき）」の6つの時期に区分しています。